



糸東小だより

やさしく かしく たくましく



10月号 No.6

令和元年10月23日

校長 猪又千恵子

心に響く話

道徳の授業は、週一回あります。新学習指導要領（小学校では、令和2年度から本格実施）では、「道徳」を、「特別の教科」と位置付け、これまで以上に子どもたちの健やかな成長と社会で生きていくための力の育成に役立てることが求められています。

「道徳」の時間に扱われる「価値」は多岐に渡ります。週に一回の学習で、より多様な考えに触れ、学びを深めてほしいと願います。そして、学んだことを日々の生活に生かそうとし、実践や実感を伴った時、初めて身に付いたと言えるでしょう。



私も子ども時代にたくさんの「道徳」の授業を受けてきました。覚えている内容はそう多くありませんが、今の自分を生かしてくれているであろう内容はたくさんあると思っています。

ひとつ覚えていることがあります。それは、新潟県出身のマラソン選手 宇佐美彰朗さんのことを扱った話です。オリンピックにも出場した宇佐美選手ですが、走っている時はその苦しさ「歩いてしまおう」とか、脇を車が通ると「あの車にぶつかって転べば、自分のせいではなく走るのをやめられるのに。」とか思うのだそうです。どうやって走り続けることができたかという、「苦しい。でも、あの電柱までは走ってみよう。」、その電柱まで来ると「まだ行けそうだ。あの分かれ道まで走ろう。」と、こま切れに目標を設けながら走ったのだと資料に書いてありました。

この話が40年近く経った今でも私を励ましてくれているということは、私の心の弱いところが「もう少しがんばってみよう」という推進力を欲しているからかもしれません。まちがいなく私の心に響いた内容でした。

週一回の「道徳」で、子どもたちは、読み物などの資料を用いて考えたり友達と議論したりして、よりよく生きるための心情を養っています。すべての内容がすべての子どもたちの心に同じように響くわけではないでしょう。でも、心の柔軟な子ども時代に、その心に響く話に出会い、体験により心を動かすことは必要です。

「道徳」は、よりよい自分を目指して学ぶ時間。子どもたちは向上心のかたまりです。日常生活の中でも、子どもたちの心に響くことをたくさん用意したいですね。



1年生の「道徳」の授業の一コマ

9/26
(木)

がんばったね、校内持久走大会

秋空の下、令和元年度校内持久走大会を実施しました。



苦しいけど、ゴールまで走りとおそう。
目標タイムは……。緊張するなあ。

スタートラインにつき、様々な思いが子どもたちの心に浮かびます。

走る距離は、1・2年生 1100m、3・4年生 1500m、5・6年生 2100mです。目標を目指し、持てる力を振り絞って走りました。

ゴールした子どもたちは、苦しさを乗り越えた満足感があふれた表情をしていました。

たくさんのご家族、地域の皆様、応援をありがとうございました。

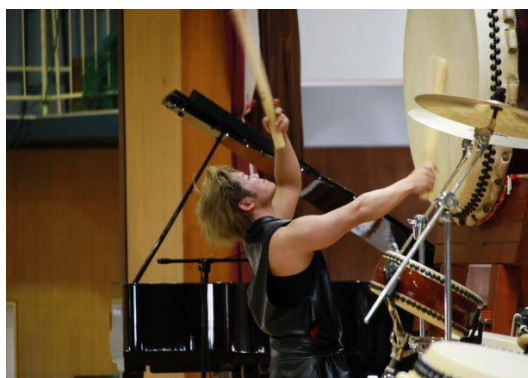
9/30
(月)

創立40周年記念「太鼓演奏会」

この節目の年に、当校の卒業生でプロの太鼓奏者 松本 悠斗さんほか4名の音楽家による「太鼓演奏会」を、PTA教養部の主催により開催しました。



演奏後の記念写真では、みんな満面の笑顔です！



演奏の合間に、小学生時代の夢を叶えた悠斗さんによる、児童を巻き込んだトークもありました。「夢をもつこと」「あきらめないこと」というメッセージは、仲間との息の合ったダイナミックな演奏とともに、みんなの心にしっかり届きました。

令和元年度の振り返り地点 ～ 糸東小の今後の方向

4月から9月の半年間の成果と課題を様々な面から振り返り、これからの方向を検討しました。年度末に成果が上がっているよう、取り組みます。

「全国学力・学習状況調査」(6年生)より

国語・算数とも新潟県全体や全国との比較において上回っています。これは、日常の学習態度(話の聞き方がよい、文章を書くことを厭わない、家庭学習をきちんと行う等)による賜物と捉えています。

全学年、引き続き「学習ルール」の定着に取り組みます。



「陰山メソッド」への取組(全校)

音読と百ます計算、漢字前倒し学習に取り組んでいます。

音読では、張りのある声が聞こえてきます。暗記し自信をもっている表情がすてきです。

百ます計算は、時間短縮を目指すことで集中力を高めている様子が見てとれます。

漢字前倒し学習では、1学期中に1年間で学ぶ漢字をひと通り学習し、夏休み中に復習、夏休み後に力試しをしました。どの学年も向上が見られ、今は熟語学習に取り組んでいます。

いずれも短時間集中して勉強することで脳を鍛えることを目指します。

児童が、自分が学習により向上していることを実感させつつ、全校体制で短時間集中を生み出す学習の場を確保するとともに、家庭学習との連動を目指します。

「学校評価アンケート」(全校児童、保護者、教職員)より

1学期末のアンケート結果を踏まえ、次のことに取り組みます。

【進んで挨拶】

アンケート結果を見ると、9割超の児童がプラスの評価をしています。保護者、教職員は7割に留まっています。9月に開催された学校運営協議会でも、「校内ですれ違った時に挨拶がなく寂しい思いをした」との意見も出されました。

進んで挨拶をする児童はたくさんいる一方、なかなかできない児童がいるのが実態です。

学校では「のびのび集会」で気持ちの伝わる挨拶について繰り返し学んでいます。社会で生きる力に高めるために、学校はもちろん、家庭と地域での実践が大切です。

【短時間集中～具体的な目標達成に向けた学習】

児童と保護者ともに「少しできない・できない」とのマイナス評価の割合が高かったのは、「メディアを消して家庭学習をしているか」、「家族と決めた時刻に寝ているか」です。これらの傾向は、「10分×学年」の達成状況と連動しています。

時間を目安とした家庭学習時間を設定していますが、短時間集中して成果をあげる学習の仕方があります。眠くならないうちに、テレビなどを消して(またはテレビのない部屋で)、やるべきことを確認して課題に取り組むよう家庭内で試みてください。

学校としてやるべきことと、家庭で、地域で取り組むこと・・・三位一体の教育力を発揮し、糸東小の子どもたちが自分の力で生きていく素地をつくっていきましょう。

さようなら 糸東小のシンボル「ヒスイブリッジ」

学校のグラウンドに設置されたヒスイブリッジは、卒業生、在校生にはお馴染みの遊具です。笛吹田遺跡に建つ糸魚川東小のシンボルとも言えます。

学校沿革史を紐解けば、昭和 62 年度（創立 8 年目）に「若草広場の造成；一学期から夏休みにかけて職員と P T A の労力奉仕により笛吹の丘・ヒスイブリッジなど遊び広場の造成をした。」と記されています。また、この年の第 8 回卒業生からは卒業記念品として「ヒスイブリッジ（わたりあみ）一式」を贈呈されています。

そのヒスイブリッジも年月を経て老朽化し、使用されている木材が朽ちてきました。今では使用禁止としています。このままにしておけず先般区長会にてご検討いただき、近いうちに解体することといたしました。ご理解くださいますようお願いいたします。



ご案内



創立 40 周年を記念して植樹を行います。

学校のグラウンドの東側（サカイ書店側）のスペースに、イロハモミジ 2 本を植樹します。サクラが数本植わっている並びになります。春には桜が咲き、秋にはモミジが色付いて、季節の移ろいが子どもたちの小学校生活とともに心に残ってくれたらいいなと思います。

10月29日（火）13：50頃から行う予定です。是非一緒に立ち会っていただきたく、ご案内いたします。



11 月の主な行事予定

- | | |
|--|---|
| 1 日（金）6 年生修学旅行 2 日目 | 15 日（金）諸費振替日（再）
創立 40 周年記念式典前日準備 |
| 3 日（日）文化の日 | 16 日（土）創立 40 周年記念式典・祝賀会 |
| 4 日（月）振替休日 | 18 日（月）16 日の振替休業日 |
| 5 日（火）諸費振替日
教育相談週間（～11 日） | 19 日（火）校内いじめ見逃しゼロスクール集会
人権教育強調週間（～24 日）
家庭学習強調週間②（～25 日） |
| 6 日（水）就学時健康診断
（1～4 年給食 13：00 下校） | 21 日（木）歯科検診
P T A 役員選考委員会③
ジオパーク学習交流会
（現 5 年生の昨年度作品展示） |
| 7 日（木）糸中校区いじめ見逃しゼロ
スクール集会（6 年生参加）
P T A 役員選考委員会② | 25 日（月）～27 日（水）個別懇談会
（児童 13：00 下校） |
| 13 日（水）糸魚川市教育研究会一斉研修
（児童 給食後下校） | 28 日（木）全校算数テスト② |
| 14 日（木）まがたまクラブ最終回・感謝の会 | |